

東北地方 1か月予報

(8月11日から9月10日までの天候見通し)

平成24年8月10日
仙台管区気象台発表

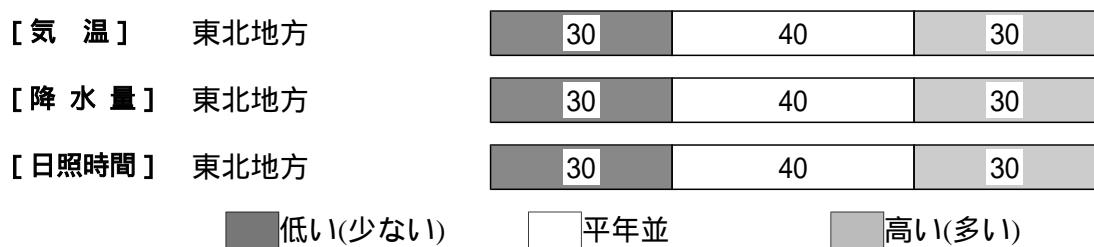
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

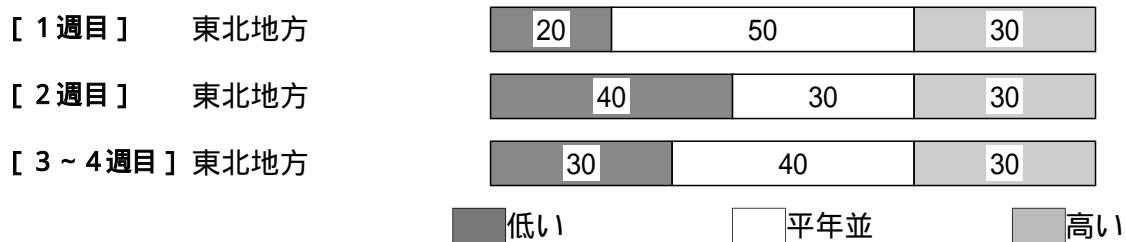
天気は数日の周期で変わるでしょう。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月11日(土) ~ 9月10日(月)

1週目 : 8月11日(土) ~ 8月17日(金)

2週目 : 8月18日(土) ~ 8月24日(金)

3~4週目 : 8月25日(土) ~ 9月7日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月17日

3か月予報：8月23日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	22.4	126.9	172.8	23.5	23.0	22.0
深浦	22.4	168.3	172.1	23.5	23.0	21.9
むつ	21.0	157.6	139.0	21.9	21.5	20.7
八戸	21.7	149.2	156.2	22.7	22.2	21.3
秋田	23.9	181.2	183.5	25.2	24.7	23.3
盛岡	22.3	188.8	139.1	23.7	23.1	21.8
大船渡	22.3	211.5	135.9	23.2	22.8	22.0
宮古	21.5	182.4	148.5	22.4	22.0	21.2
仙台	23.5	171.7	135.4	24.3	24.0	23.2
石巻	22.9	126.2	158.0	23.6	23.4	22.6
山形	23.8	150.4	164.4	25.1	24.5	23.3
新庄	23.0	172.2	156.9	24.4	23.8	22.5
酒田	24.4	192.3	192.0	25.7	25.1	23.9
福島	24.5	152.9	139.4	25.5	25.0	24.0
若松	24.0	138.2	181.1	25.3	24.7	23.5
白河	22.7	219.2	136.9	23.7	23.2	22.3
小名浜	23.8	142.6	174.6	24.2	24.2	23.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981~2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.5	76 ~ 117	93 ~ 107
東北日本海側	-0.4 ~ +0.6	78 ~ 107	93 ~ 107
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.7	73 ~ 114	91 ~ 107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.9	-0.6 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.6
東北日本海側	-0.5 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.7	-0.3 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.9	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981~2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を受けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成24年8月10日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（8月11日～9月10日）：

高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。

1週目（8月11日～8月17日）：

気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめと期間の終わりは雨の降る日があるでしょう。

気温は、平年並の確率50%です。

2週目（8月18日～8月24日）：

高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目（8月25日～9月7日）：

高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

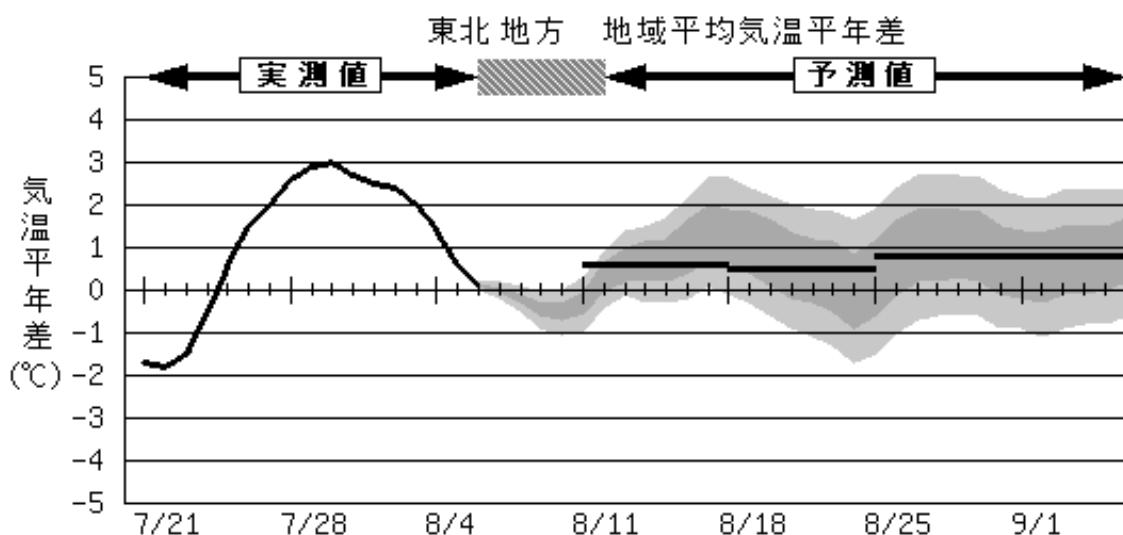
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
14.6	9.2	15.7	10.0	11.8	10.4	11.7	10.3	14.8	9.2	12.1	9.6

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年付近、3～4週目は平年を上回る予想となっている。3～4週目はその他の資料から平年程度を予想する。



- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

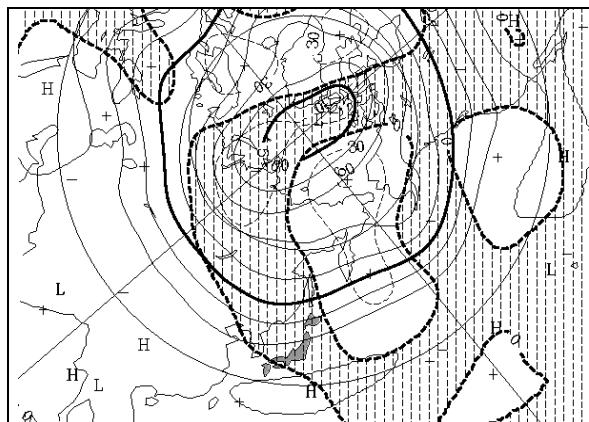
3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は負偏差となり、高緯度側から寒気が南下する。一方、日本の南は正偏差で、太平洋高気圧は強い。期間の前半は、太平洋高気圧の北側の縁辺で、日本付近に暖かく湿った気流が入りやすい。東北地方では梅雨明けから雨が少なかったが、今後まとまった雨が降りやすくなる見込み。

1週目: 日本付近は気圧の谷が深まり負偏差となり、高緯度側から寒気が南下する。一方、日本の南は正偏差で、太平洋高気圧は強い。日本付近に暖かく湿った気流が入りやすく、雲が広がりやすい見込み。気温は平年程度が予想される。

2週目: 1週目と同様に日本付近は負偏差となる。

負偏差域は日本の東に広がり、東北地方は寒気の影響を受ける時期がある見込み。

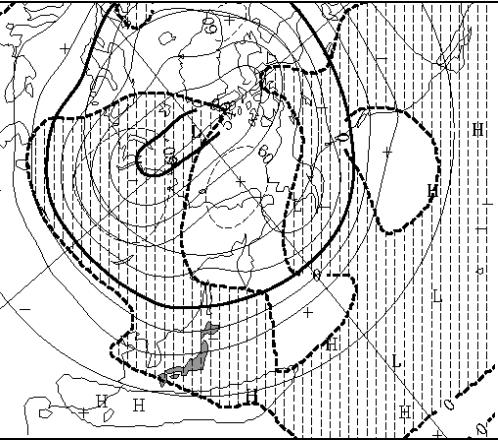


1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

1週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。



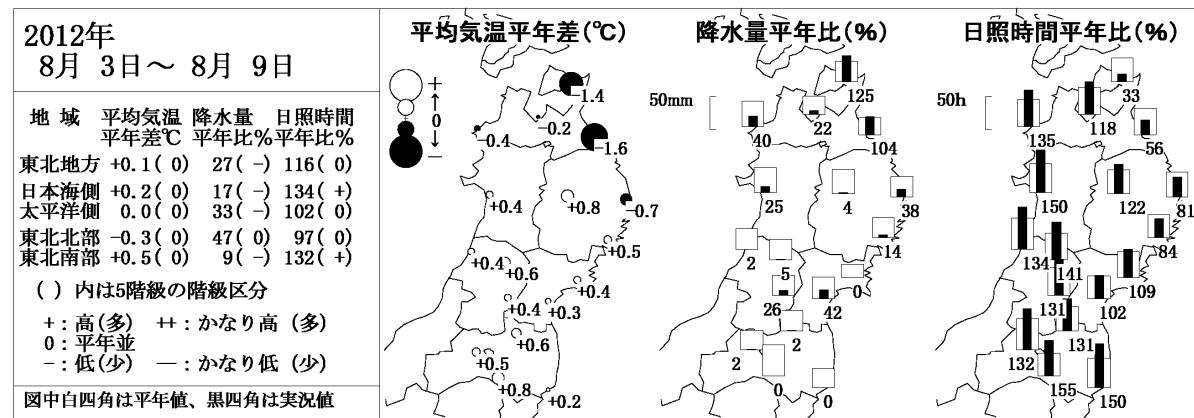
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（8月3日～8月9日）の天候の経過

この期間、高気圧におおわれて東北日本海側を中心に晴れの日が多かったが、東北太平洋側の北部では湿った東よりの風や日本の東に停滞した気圧の谷の影響で曇りの日が多かった。期間の後半には、上空に寒気が入り大気の状態が不安定となって、6日は各県で、7日は岩手県で、8日は福島県で大雨となったところがあった。気温は期間の前半は平年を上回ったが、期間の後半は平年を下回った。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）